



北山村 議会だより

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207



じゃばら収穫祈願祭
(11月6日 下尾井・じゃばら神社)

令和2年12月定例会が開催されました

令和2年度補正予算案・条例改正案等を審議／可決 P 2

全員協議会・定例会での協議・意見書の提出 P 3

北山中学校 校外学習（僕たちの提案） P 4

議員が村政を問う！ 一般質問 P 5～P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和2年12月定例会

～令和2年度予算等を審議・可決～

本定例会は、12月15日、16日（会期2日間）で開催されました。15日の開会日は、諸般の報告として、村長の行政報告並びに提案理由の説明が行われました。その後、議案の審議を行い、専決処分の承認、村道認定、条例改正などの議案、令和2年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案など合計14件の議案が上程され、その後、議員発議として意見書（P3に記載）が議員から提出されました。すべての議案が原案どおり可決承認されました。

2日目の16日は一般質問が行われ、久保学議員、山口廣一郎議員、藪本英明議員の順に村行政についての質問を行い、活発な議論が行われました。（P5～7に記載）

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 承認第10号 専決処分の承認について（職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）
- 承認第11号 専決処分の承認について（北山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例）
- 認定第8号 村道路線の廃止について
- 議案第50号 北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第51号 北山村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第52号 北山村公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第53号 東牟婁郡町村新宮市老人福祉施設事務組合規約の変更について
- 議案第54号 令和2年度北山村一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第55号 令和2年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第56号 令和2年度北山村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第57号 令和2年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第58号 令和2年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第59号 令和2年度北山村簡易水道特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第60号 令和2年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第3号）について
- 発議第6号 難聴者の補聴器購入への公的支援を求める意見書の提出について

条例改正の説明

今回の定例会で可決された議案のうち、主なものについて説明します。

- 専決処分の承認案は、職員、会計年度任用職員の期末勤勉手当を削減するものでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により民間の支給水準が低下したことを踏まえて、人事院が公務員の期末手当（ボーナス）を0.05か月分引き下げる勧告をしたことによるものです。
- 認定案の村道路線の廃止については、村道熊山谷線を廃止するもので、熊山谷橋の老朽化、橋梁の破損等により維持補修費が多くなるためです。
- 公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の改正については、これまで指定管理者は村内の団体を対象にしていたが、村外の民間の団体でも指定ができる条項を盛り込んだ改正です。

予算・条例改正について議員が問う！

全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】職員の期末手当はどの程度の減額なのか？

【回答】令和2年分は期末手当で0.05か月の減額、令和3年は6月分で0.025か月、12月で0.025か月の合わせて0.05か月分の減額となります。

【質問】村道路線の廃止について、廃止の理由と今後の管理はどうなるのか？

【回答】村道熊山谷線については橋梁が老朽化、破損しており危険で維持補修費が多大になることから廃止とします。今後は村有地としての管理となります。

【質問】公の施設の指定管理について、指定管理者の選定に議会としてどのような審議を行うのか。

【回答】指定管理者の選定には、提出された申請書に対して、役場幹部で組織する内部委員会、議会や顧問弁護士で組織する外部委員会で審査を行い決定します。

【質問】じゃばら畑の造成の事業費が減額しているが、じゃばらの苗木について植栽場所が決まっているのか。

【回答】今年度に入荷する苗木については、生産者組合員に販売する予定です。令和3年度に入ってくる1000本については、まだ植栽場所が決まっていま

せんが、村内にある休耕田が候補地となっていま



【質問】ゴミ収集のための3トントラック購入費について補正予算で450万円減額されているが購入したのか？

【回答】ごみダンプは当初1130万円を見込んでいましたが、入札により680万円で落札されました。納入はまだです。

議会から政府に対し意見書を提出！

難聴者の補聴器購入への公的支援を求める意見書 【全文】

難聴はあらゆる世代に発生し、社会生活において様々な困難をもたらしている。

難聴児の出生割合は、1000人中1〜2人といわれており、乳幼児期や学齢期の子供の難聴を放置しておくと、言葉やコミュニケーション能力の発達に遅れが生じるおそれがある。

また、生育途中や成人してからでも、様々な疾病等により難聴となり、日常生活や社会生活等で支障が生じている人もいる。

さらに、高齢者の難聴発生率は、非常に高く、加齢に伴って発症する加齢性難聴は認知症やうつ病の発症につながり、要介護状態に至るリスクも高いといわれている。

コミュニケーションの重要な役割を担う聴覚機能の維持や、将来のための医療費・介護費の増大リスクの

軽減などの観点から、補聴器の普及など世代を超えた難聴対策を充実させていく必要があるが、補聴器は高額で、保険が適用されないため、購入者にとっては重い負担となっている。

国は、現在、補装具費支給制度により、補聴器の購入に要した費用を一部支給しているものの、制度の対象は、身体障害者手帳の交付対象の重度・高度難聴の場合のみである。

よって、国におかれては、こうした課題に対応するため、補装具制度の対象とならない難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を構築するよう強く要望する。

提出者 山口廣一郎議員
賛成者 藪本英明議員

提出先 衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・財務大臣
総務大臣・法務大臣
厚生労働大臣

北山中学校 校外学習

議場見学

12月1日、北山中学校3年生の2人が村議会が開かれる議場を見学を訪れ、村議会の目的、どのようなことを審議しているかを学習しました。

実際に議会が行われている場所を訪れることによって理解を深め、関心を高めるための校外学習です。
2人からより良い村にするための提案をしていただきました。

中学生からの質問内容

【質問】 村の議会議員は何名ですか？

【回答】 5名で全国で最少の議員数です。

【質問】 年間でどのくらいのことを協議していますか？

【回答】 年間100件程度の議案を審議しています。

【質問】 今までに一番重要な協議内容などのようなことでしたか？

【回答】 過去に市町村合併の協議がありました。住民投票も行われましたが、最終的に合併せずに単独の村として残ることが決まりました。

議場を見学した感想

普段村に住んでいて見る機会がないところなので、見学できて良かったです。

議場は思っていたほど大きくなかったですが、独特の緊張感のようなものがありました。

(栗林祐朗)

いつもはめったに見られないところに入れてもらえたので、ワクワクしながら議場に入りました。いつも写真で見る場所だと思いました。いつか議場の席に座れるといいなと思いました。

(下平紘生)



より良い村にするための提案

人々がお互いにフレンドリーに接することを心掛けることだと思います。

村で歩いている人を見かけることがほとんどないので、外に出たくなるようなイベントを開催してはどうでしょうか。

(コロナで開きにくいとはおもいますが)

(栗林祐朗)

新宮行きのバスが欲しいです。一人の意見を聞くのではなく、全員の意見を平等に聞くことだと思います。

良い村にするには、全てを明るくする。(街灯などをもっと増やしてほしい)

(下平紘生)



議会の防災の知恵袋

No. 10

寒い日が続きますし、まだまだ新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていますので、家にいる機会が多いと思います。そんな時こそ、防災について家族で考えてみてはいかがでしょうか。

今回は家庭でできる防災の取り組みをご紹介します。

「防災ごっこ」というもので、防災体験を自宅で実際にやってみるというものです。停電を体験する「停電ごっこ」でも 断水を体験する「断水ごっこ」でもかまいません。停電も断水も両方は難しいので、どちらかを止めて体験してみましょう。

たとえば、停電ごっこなら1日中電気を消してみ、ランタン、懐中電灯で過ごし、食事はカセットコンロ1つで全て料理してみる。非常食の買い置きを使ってみたり、アウトドア感覚で飯ごう炊飯してもいいですね。楽しんで、いざというときに備えておきましょう



一般質問

地域振興事業の民営化の状況について
コロナ収束後のイベント実施について

久保 学



【質問】前回の一般質問でじゃばら山では取締役には経営責任はないということだった。取締役の報酬が年間60万円というところで、じゃばら山にしたらコンテナ約90杯分に相当する額になる。経営責任のない取締役の報酬額が適正か再度村長に説明を求めます。

【質問】じゃばら山北山には村が出資しているの、利益により村民が潤う仕組みが必要だと考える。村が株主となっているので、村の考えを決めるために意見を出し合うことが必要ではないか。

【答弁】株主総会として意見を申し合ふ場として株主を増やすということは株の増資を募るということとあります。増資によって経営体質を強化、設備投資を行い経営拡大を図るということです。

経営が順調にいかない場合は株主のリスクもありますので、増資については専門家にも相談し、取締役の皆さんに相談していきますのでしばらく猶予を頂きたい。

(山口村長)

【質問】現在、村は財政調整基金を取り崩すなど厳しい財政状況にあるので、村民に対する補助金の見直しを議会から要請している。

村の財政が厳しい中で、じゃばら山事業の利益が出ているからといって役員が報酬を得ている状況を村長としてどう考えているのか。

【答弁】じゃばら山北山には地域貢献のために経費の節減に取り組んでいたが村に還元出来るよう努めていたと考えると思います。

経営については、じゃばら山事業を続けていくことが大事なので、じゃばら山北山を信頼して、事業の責任者としてお願いしている。

(山口村長)

【提言】温泉等、観光事業の従業員も頑張っている。筏師も一生懸命にやっている。地域振興のために村が運営している事業なのでじゃばら山事業だけ利益が出ているからと言って給与に格差が生じたら不満がでることも村長には理解していただきたい。じゃばら山北山は社長の報酬が月額80万円で、職員も給与が高いのではないか。

【質問】現在、コロナ感染の第3波で全国的に感染者が増加している。ワクチン接種等により安心感が出てきた時に、イベントが開催できるような今から計画をしておいてはどうか。

【答弁】今年は村内のイベントが軒並み中止になっている中で、11月には1か月間のイベントとして三村フェスタを開催できてよかったと感じています。

コロナ終息後のイベントについては、追善盆踊り、じゃばら山収穫祭、三村フェスタが開催できることを期待しています。

今後イベントについては、コロナ以前の生活様式に戻るのには難しいということを念頭に入れながら、観光協会、事業者と連携し計画できればと考えています。

(三浦観光協会事務局長)

【質問】今シーズンの筏の運航については、ソーシャルディスタンスのために、1乗りの定員を通常の半分の10名にしています。来年の筏シーズンには葉などで安心感が出てきた場合に備えた計画として、できるだけ多くの人に乗船してもらえたり方方を考えてはどうか。

【答弁】来シーズンの筏下りの定員については、現場の筏師とも検討を行い、送迎バスの補助席を使用しないことにしています。

筏師自身もマスクを着用しての筏流しは大変な労力を使いながら従事していることも考慮し、現時点では1乗り当たり16名程度で運航しようと考えています。

また、今後、ワクチン接種などの状況の変化によりますが、通常の1乗り20名に戻せないかと考えています。

(三浦観光協会事務局長)

【答弁】役員報酬はあってしかるべきものというのが株主としての考え方です。報酬額は売り上げが下がると報酬も下がります。じゃばら山には営業利益を上げたうえで村に潤いをもたらしてもらいたい。報酬を節約して地域振興に役立てることも必要だと思うので、次回の役員会で協議します。

(山口村長)

一般質問

観光立村に向けた新しい観光メニューの開発について

山口 廣一郎



【質問】現在観光については、筏、ラフティングなどがあるが、村はこれから先それだけでは成り立たない。観光立村として北山村が進むのであれば新しい観光メニューが必要だと考える。

新型コロナウイルス感染により、アウトドア志向や地方での生活、観光が見直されているので、設備投資が少ない自然や河川を利用した観光メニューが必要ではないか。

観光事業はピンチであるが地方にはチャンスだと考えて、例えばボルダリング、バンジーキャンプなど、持続から発展へと進むための村に人を呼ぶ施策を実施してはどうか。

【答弁】今年度より観光協会の組織を充実させ、情報収集やPRを行うとともに、各事業者と

の連携し一層の集客につなげていきます。また、コロナ禍で3密回避するためキャンプへ関心が高まっているので、おくとり公園や小松園地を有効活用していきます。また、通年を通した観光メニューとしては筏師の道をはじめとした村内ウォーキングルートの整備を行い、看板の設置やジオパークガイドと連携するなど、村内を気軽に歩いてもらうことを考えています。

バンジージャンプの事業者の誘致なども検討していきます。

(三浦観光協会事務局長)

【質問】観光センターから筏乗り場まで10分程度の移動時間がある。バスにモニターテレビを設置し、村の自然、四季折々の風景を見てから、筏に乗ってもらうことで感動がより一層心に残るのではないか。しいては観光だけではなく村への集客、リピーターに繋がるのではないか。

バスのモニターは後付けが可能ですが、10分間のビデオ製作はすぐの対応は難しい。

観光センターのロビーで映している村の紹介ビデオやパネル展示などで村の風景を感じていただきたい。

(三浦観光協会事務局長)

【質問】12月13日付の読売新聞でダム観光についての記事があり、「日本ダム協会は、ダムは地域の理解の上に成り立ち、地域の発展と活性化に寄与するものと考えている」というもので、これからの北山村の観光振興にとってもヒントになると思うが、観光放流とか、ダムを活用した観光振興の考えはないか。

【答弁】ダムは立派な観光資源であり、ダム見学のツアーなどが行われている例もあります。全国にはダムのファンがたくさんいるので、電源開発に頼れば見学もできますし、情報発信を行うことで観光客の増加につなげていけると思います。

奥瀬道路Ⅲ期の開通後には、3号橋からバンジージャンプの考えもあり、国土交通省と歩道を作ってもらうことも協議しています。

新年度に入ったら観光協会でも視察を行うなど進めていただきたいと思います。

(山口村長)

『あがらのむらはあがらでまもる』決意で、各地区長と共に和歌山県に国道改良工事などに対する要望とお礼に

11月11日、村長、村議会、区長会が合同で、和歌山県副知事及び県土整備部を訪問し、国道改良に関する要望活動、現在までの道路改良のお礼を行った。

国道改良についてはこれまで県に対して要望しておりますが、現在に工事を実施している竹原地内となります。その後、大沼地内の集落内の改良工事となります。

今回は中弘也区長会長が県土整備部長に対して礼状を手渡し、村民も「あがらのむらは、あがらでまもる」決意であることを伝え、お礼の言葉を述べました。



一般質問

移住定住促進事業について
すぐやる課(係)の創設について

藪本 英明



置と離乳食の実施が必要なため、過疎地域では条件が整わず開設されていないのが現状です。

長期総合振興計画における子育て環境について、「認定こども園」を含め0歳児保育と中学校卒業までの教育を検討していきます。

(中島教育長)

【質問】保育の問題については、村にとって大切な課題である。地域型保育事業における小規模保育など検討していただき、移住、定住を推進していただきたい。

【答弁】地域型保育事業は、原則0歳～2歳児を対象としており、3歳児以降は近くの連携施設が必要で、国の認定基準を満たしたこども園、保育所、幼稚園が必要になります。これからも、それぞれの制度のメリット、デメリットを検証していきます。

北山村の今後の子育て環境づくりについては少子化、過疎化の課題も含めて検討していきます。

(中島教育長)

【質問】移住者に対する職業斡旋について村内だけでは雇用が限られているので新宮市、熊野市での雇用も勧めて通勤圏内というところで移住定住を促進できると考える。

【答弁】熊野新宮への道路事情がよくなっているので、ハローワークと連携し仕事の相談があれば紹介しています。また移住の相談会にはハローワークの職員に同席してもらいスムーズな仕事探しが可能ないようにしています。

(尾中地域事業課長)

【質問】今後の人口減少対策、移住定住についての村長の考えは。

【答弁】移住定住については、三谷村長のところから取り組みで子供所帯的を絞り村営住宅を建設し定住を促進した経緯があります。

就労場所の確保や生活環境に対する考え方など、定住者のニーズに応えることも必要。定住する方にも定住の意思と地域貢献の理解を望みます。

定住促進については、村内に勤める方に定住して頂く、じゃばらの営農移住者を募る、新宮までが通勤圏になるので新宮周辺で働く方に住んで頂く、など考えられませんが、受け入れには住宅建設が伴

います。住宅建設には造成も含め1戸4千万円を要するので、民家の借り上げを検討しています。

人口減少に振り回されず、今住んでいる村民の生活を守ることも大切であり、村を存続させるために人口に見合った行政を行っていきます。

(山口村長)

【質問】松戸市に「すぐやる課(係)」が設置されて50年になる。

現在の高齢化社会の中で住民ニーズが多様化し「すぐやる課(係)」が増加傾向です。

北山村でも「すぐやる課(係)」を創設してはどうか。

すぐ対応することで住民の満足度は上がり、住民との繋がりが、庁舎内の横の連携もできる。

【答弁】日頃感じていることは各課において、すぐに対応する体制を整えておくことです。職員が常に「後回しにしない意識」を持つていけば対応できると思います。「すぐやる課」よりも「すぐやる気」で各案件にあたり、各課長の指導力も問われることを認識してほしいと考えています。少ない職員数では「すぐやる課」の設置は難しいので、各課に係りをおくなど検討したいと思います。将来「なんでもやる課」を創設したいと考えています。

(山口村長)

はないか。

【答弁】認定こども園には4つの型があり、最も多く開設されているのは「幼保連携型こども園」です。保護者の勤務状況に関わらず施設の利用が可能で、既存の幼稚園の活用により待機児童の解消や、育児不安の大きい専業主婦家庭への支援を目的にしています。

こども園には幼稚園教諭と保育士資格を併せ持つ「保育教諭」を配置すること、また、栄養士の配

議 会 日 誌

11月 霜月（しもつき）

6日 じゃばら祈願祭（下尾井）

11日 正副委員長研修会（和歌山市）

12日 国道改良事業等要望活動（和歌山市）

25日 電源開発（株）関西支社訪問（大阪市）
東牟婁郡町村新宮市老人福祉施設
事務組合議会（太地町）

12月 師走（しわす）

2日 株式会社じゃばらいず北山取締役会

（じゃばらいず北山会議室）

8日 議会運営委員会（村民会館会議室）

10日 全員協議会（村民会館会議室）

15日 16日 12月定例会（役場）

16日 おくとり温泉指定管理者選定委員会
（役場・太地町）

1月 睦月（むつき）

15日 総務建設常任委員会（村民会館会議室）

令和2年度は、池原ダムの水利権の更新時期であり、現在、水利権更新に伴う要望活動を行っています。

新型コロナウイルス感染が広がる中、十分に要望活動ができない面もありますが、ダムがある地域で村民が安心して暮らすための協議をしていますことを報告いたします。

2月以降の予定

2月 如月（きさらぎ）

12日 総務建設常任委員会（村民会館会議室）

16日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会

25日 紀南環境衛生施設事務組合議会（和歌山市）
（新宮市）

3月 弥生（やよい）

3日 株式会社じゃばらいず北山取締役会

（じゃばらいず北山会議室）

上旬 議会運営委員会（村民会館会議室）

全員協議会（村民会館会議室）

3月定例会（役場）



11月12日の電源開発（株）関西支社訪問の写真です。久保隆俊議長が若松関西支社長にで要望に関する村の事業計画書を手渡しました。

議員のひょういし

今年の干支（えと）は丑（牛）である。牛は菅原道真公の使いとされ、神聖なものでした。

子供のころ農家の牛小屋で牛を飼っていたのを思い出します。田を耕すために飼われていたが、時代とともに牛の姿は消えて、牛に代わって登場したのが農業機械である。今では牛を見かけることはありません。

干支は年賀状にはなくてはならないもので、干支の起源を調べてみると、干支を動物に当てはめるようになったのは戦国時代からといわれています。

ね、うし、とら、う、たつ、み……と数えています。ですが、人の生まれ年と十二支の動物を当てはめて、イノシシ生まれの人は気が強いとか、ヒツジ生まれはおとなしいといわれ、又、うま年の女性は気質が荒々しい、などの迷信が生まれたそうです。

ところで猫は身近な生き物なのに十二支にいません。釈迦（しゃか）の入滅を描いた涅槃（ねはん）図にほとんど姿がないことから……俳句でなぞ解きをした物理学者がいます。へびぎにゐて猫涅槃図に間に合わずつまりこの意味は、私なりに思うに、いつも飼い主のひびにいたため大事なもののなのに、気が付かずに涅槃図に書き忘れたものと思います。なかなかユーモアのある俳句です。

最後に、新型コロナウイルスの感染拡大が、私たちの生活に多大な影響を与えていますが、災禍が早く終息し、元の生活に戻れますように、心よりお祈りいたします。

北山村議会議員 前岡 武津雄